

**公 共 関 与 型 産 業 廃 棄 物 最 終 処 分 場  
浸 出 水 処 理 施 設 建 設 工 事**

**落 札 者 決 定 基 準 書**

**令和2年 12 月**

**一般財団法人クリーンいわて事業団**

## < 目 次 >

1. 落札者決定基準書の位置付け .....	1
2. 落札者決定の手順 .....	2
(1) 入札参加資格審査 .....	2
(2) 提案審査 .....	2
(3) 落札者の決定 .....	2
3. 提案審査の方法 .....	4
(1) 基礎審査 .....	4
(2) 技術審査 .....	4
(3) 価格審査 .....	6
(4) 総合評価及び落札候補者の選定 .....	7

## 1. 落札者決定基準書の位置付け

一般財団法人クリーンいわて事業団（以下「事業団」という。）が発注する「公共関与型産業廃棄物最終処分場浸出水処理施設建設工事（以下「本工事」という。）」では、工事の特性から、浸出水処理施設の整備及び維持管理に関する専門的な知識等が求められる。

このため、事業団では、落札者の決定に当たり技術評価（施設の性能及び機能等）及び価格評価によって落札者を決定する総合評価落札方式条件付一般競争入札を採用する。

本落札者決定基準書は、事業団が実施する総合評価落札方式条件付一般競争入札による落札候補者の選定に際し、最も優れた提案を行った者を客観的に評価・選定するための基準を示すものである。

## 2. 落札者決定の手順

### (1) 入札参加資格審査

入札参加者から提出された入札参加資格審査に関する書類を事業団が設置する入札審議会において、入札説明書で示す入札参加資格要件を満たしているかの確認を行う。

入札参加資格審査の結果、入札参加資格要件を満たしていることが確認された入札参加者のみ、次段階の提案審査に参加できるものとし、入札参加資格要件を満たしていない入札参加者は失格とする。

なお、入札参加資格審査の結果については、全入札参加者に通知する。

また、事業団では、落札候補者に選定された事業者に対し、選定から契約までの期間において、再度、入札参加資格要件を満たしていることを確認した後、契約締結に進むものとする。

### (2) 提案審査

#### ① 基礎審査

次期産業廃棄物最終処分場浸出水処理施設建設工事事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）では、技術提案書の内容が、本書に示す基礎審査項目を全て満たしていることを確認する。

基礎審査の結果、当該要件を全て満たしていることが確認された入札参加者のみ、次段階の技術審査及び価格審査に進むことができるものとする。

#### ② 技術審査

事業者選定委員会では、技術提案書を評価、点数化し、技術評価点を算出する。

なお、技術審査に当たっては、入札参加者へのヒアリングを実施する。

#### ③ 価格審査

事業者選定委員会では、入札価格を点数化し、価格評価点を算出する。

#### ④ 総合評価及び落札候補者の選定

事業者選定委員会では、技術評価点及び価格評価点を合計して総合評価点を算出し、総合評価点の最も高い入札参加者を落札候補者として選定する。

### (3) 落札者の決定

事業団では、事業者選定委員会における総合評価の結果に基づき、落札者を決定する。

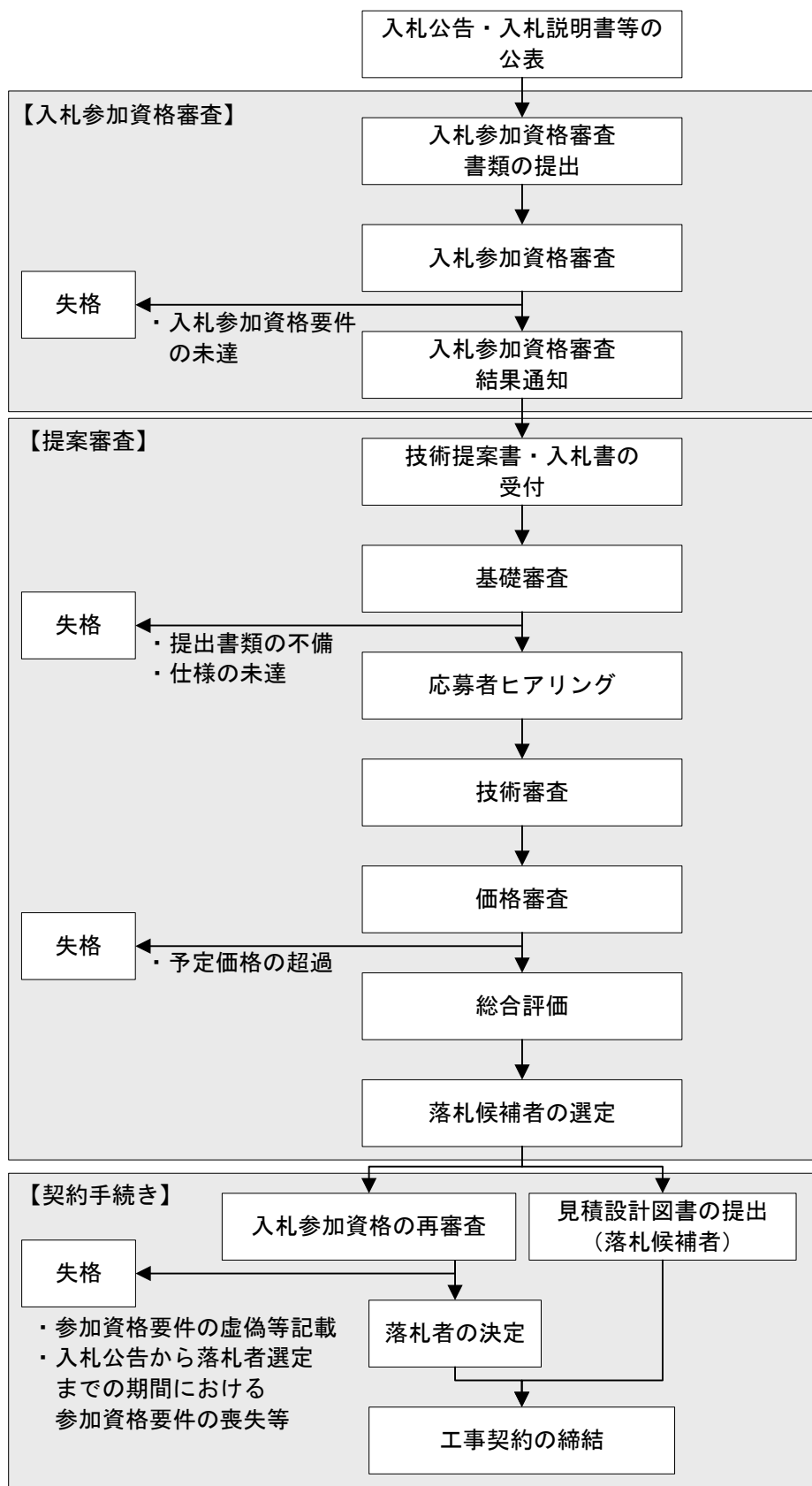


図1 落札者決定の手順

### 3. 提案審査の方法

#### (1) 基礎審査

事業者選定委員会では、次に示す項目を審査する。なお、発注仕様書に規定する性能要件を満足していない場合は、その入札参加者は失格とする。

##### ① 提出書類の整合確認

ア) 必要な書類が全て揃っているか確認する。

イ) 書類間の整合が図られているか確認する。

##### ② 技術提案書と発注仕様書との整合確認

技術提案書の内容が発注仕様書で示す仕様を満たしているか確認する。(ただし、入札説明書等や質問回答書の内容も考慮した上で判断する。)

#### (2) 技術審査

##### ① 入札参加者ヒアリング

事業者選定委員会では、技術審査を行うに当たり、入札参加者へのヒアリングを実施する。

##### ② 審査項目及び配点

技術審査の合計点は、60点とする。

事業者選定委員会では、技術提案書における提案内容を表1に示す基準で評価し、点数化する。

表 1 審査項目及び配点

評価項目			評価基準		配点	
企業能力	①	同種施設 <sup>(※1)</sup> の施工実績 (施設規模48m <sup>3</sup> /日以上)	・過去15年間における同種施設の施工実績(H17.4.1～入札公告日の前日までに供用開始した施設)の件数を定量評価する。 ※48m <sup>3</sup> /日以上施設(A:5件以上、B:4件、C:3件、D:2件、E:1件)		5点	
	②	処理性能	・浸出水の特性を十分に理解し、浸出水の水量・水質の変動や配管の凍結等に対し、安定的に対応するための処理性能に係る具体的な提案がなされているか。 ・埋立物が産業廃棄物であることを考慮し、経済状況等による埋立物の割合の変動による原水水質の変化に対して対処できる具体的な提案がなされているか。		5点	10点
浸出水処理システム	③	浸出水調整設備	・浸出水流入量の変動等を想定した本設備の分割数、攪拌装置又は散気装置の採用、排砂機能、凍結対策等の本設備の設計について、運営方法を含めた具体的な提案がなされているか。		5点	10点
			・浸出水調整設備は大規模な構造物であり、地下埋設することから、水密性の向上、ひび割れ抑制対策(特に冬期間中)、打継部対策、防水・防食対策等のほか、地盤状況を踏まえた、設計・施工や運転中も含めた課題及び対応策について具体的な提案がなされているか。		5点	
	④	既存施設の課題等への対応	・浸出水調整設備及び浸出水処理設備において、カルシウムスケール障害への対策について、具体的な提案がなされているか。		5点	10点
			・浸出水調整設備及び浸出水処理設備において、塩化物イオン濃度に留意した耐塩対策について、具体的な提案がなされているか。		5点	
	⑤	災害等への対応	・集中豪雨や地震災害等の災害発生時において、安定稼働を確保するための提案や、運転面での工夫のほか、施設として早期復旧を図るための具体的な提案がなされているか。		5点	
	⑥	将来計画	・第Ⅰ期埋立終了後、浸出水の水質安定後における運転方法について効率的かつ具体的な提案がなされているか。		5点	
施設管理計画	⑦	日常点検等への配慮	・施設内での日常点検や水質点検などが行いやすい動線であり、安全性、作業性、点検スペース確保等のメンテナンスに優れた機器配置のほか、薬品漏洩対策等について具体的な提案がなされているか。		5点	10点
			・薬品の搬入や浸出水調整設備の点検など敷地内での安全を確保した施設配置(本工事対象施設のみ)について、豪雪対応も含め、具体的な提案がなされているか。		5点	
	⑧	効率的かつ経済的な維持管理計画	・電気使用量、薬剤使用量、設備取替(省エネルギー設備導入による対策を含む)等による運営・維持管理費の抑制について、具体的かつ現実的な提案がなされているか。		5点	
その他	⑨	周辺環境への配慮	・周辺環境に影響を及ぼさないよう、適切な公害防止対策を立案しているか。また、周辺の景観や植生等に配慮した浸出水処理施設周囲の工事のほか、美観や維持管理費用へも配慮した自然素材や植栽等を活用するなど、具体的な提案がなされているか。		3点	
	⑩	県内企業や県産資材の活用	・本工事において、地元企業の活用や県産資材等の活用などへの提案がなされているか。		3点	
合計					66点	

※1：国内の一般廃棄物最終処分場又は管理型最終処分場（いずれも陸上埋立処分に限る）における浸出水処理施設の施工実績（平成17年4月1日から入札公告日の前日までに供用開始したものに限る）

### ③ 評価内容及び点数化方法

技術審査における評価内容及び点数化方法は、表 2 に示すとおりである。

表 2 評価内容及び点数化方法

評価	評価内容	点数化方法
A	特に優れており、提案内容に非常に大きな期待ができる	配点×1.00
B	AとCの間であり、提案内容に大きな期待ができる	配点×0.75
C	提案内容に期待ができる	配点×0.50
D	CとEの間であり、提案内容にあまり期待ができない	配点×0.25
E	仕様を満たす程度であり、提案内容に期待できない	配点×0.00

### ④ 技術評価点の算出方法

技術評価点は、次の方法で算出する。

技術評価点＝60 点×（入札参加者の技術評価点の合計点／評価項目の合計点（66 点））  
注）技術評価点は、配点が表示される評価項目ごとに小数点第 3 位を四捨五入し、  
小数点第 2 位まで算出するものとする。

### （３）価格審査

価格評価点は、40 点満点とし、次の方法で算出する。

予定価格を上回った価格で入札をした入札参加者は、失格とする。

なお、事業団では、価格審査において定量化限度額を設定する。

#### 【最低入札価格＞定量化限度額の場合】

価格評価点＝40 点×（最低入札価格／入札価格）

#### 【最低入札価格≤定量化限度額の場合】

価格評価点＝40 点×（定量化限度額／入札価格）

注） 1． ここでいう入札価格とは、各入札参加者が入札書に記載した入札価格（税抜き）を指す。また、最低入札価格とは、全入札参加者による最低の入札価格（税抜き）を示す。

注） 2． 価格評価点は、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位まで算出するものとする。

注） 3． ある一定の価格を定量化限度額として設定し、この定量化限度額以下の入札価格は、一律価格評価点の上限（40 点）とする。なお、定量化限度額は開札時に公表する。



#### (4) 総合評価及び落札候補者の選定

事業者選定委員会では、技術評価点及び価格評価点の合計で算出した総合評価点の最も高い入札参加者を落札候補者に選定する。

総合評価点の最も高い入札参加者が複数ある場合、当該入札参加者にくじを引かせて選定する。

なお、当該入札参加者が不在の場合は、当該入札事務に関係がない事業団職員がくじを引き、順位を決定する。

$$\text{総合評価点} = \text{技術評価点} + \text{価格評価点}$$